

4834号

2013年1月15日

伝書鳩

全国一般労組・全国協議会
安倍川製紙労働組合
静岡市葵区田町3-5-6
電話 054-271-7302
岩淵構内電話 340
abekawarouso@room.ne.jp

職場の悪臭何とかして

浄化槽清掃時にこもる-労使懇で要望

組合は月例の労使懇談会で、東海工場の前の月の決算・生産などの報告を受けたあと、職場の問題等を会社と話し合っています。先月は、紙業職場の「たまらない悪臭」について要望しました。

糞尿臭が長時間こもる

事の起り方は、塗工の建屋が継ぎ足しになったため、年に数回行われる浄化槽清掃において、作業車を建屋の外においたのではホースが届かず、作業車が建屋の中に入ります。数時間の作業中は作業車から糞尿臭が拡散し続けます。

そのうえ「防虫対策」ということで窓・シャッターは閉めっぱなしのため、悪臭がこもりっぱなしです(浄化槽にホースを通すために一部のシャッターは開けっ放しですが)。

会社としては該当する職場の従業員に「避難指示」を出すべき状況なのです。

防虫対策も含めシャッター設置を

労使懇の席では会社から「作業を土曜や日曜に」という話が出されましたが、現場は三交替作業のため、なんら変わりはありません。

組合が職場の人と話したところ、「通路の一部にシートシャッターなどを設置すれば、悪臭と虫の両方を対策できる。」という案が出たので、そのことを紙業職場の管理職に告げ、一緒に現場を確認しました。さらに窓に網戸をつければ空気の交換も促進できるはず(冬場は無理かな)。

そんなに大金がかかるわけではないだろう

改善する方法はあるのですから「こんな過酷な状況で可愛い部下を働かせるのは忍びない」という会社の姿勢はだいたいです。



何かと「予算が」という話になる傾向は否めませんが、あの匂いの中で働き続けることを解決しないのであれば、王子グループ企業行動憲章「従業員満足の実現……従業員的安全と健康に最大限配慮……」が泣くというものです。